

全国女性建築士連絡協議会(福岡)エキスカーションのご案内

令和2年7月19日(日) 12:10~17:00頃(コースにより18:30) 昼食含め 約4~5時間
各コース 20名~40名(最小催行人数 10人~35人)

CPD 3単位

ご 注 意 と お 願 い

福岡ならではの美味しい昼食と景観を味わっていただくために、県内の選りすぐりのコースを企画しました。真夏の約4時間、限られた時間での見学ですが、福岡を少しでも楽しんでくだされば何よりです。残念ながら今回は不参加の方も、この「オススメコース!」を参考に、ご家族やお友達と一緒にまたの機会にぜひ福岡へお越してください。

- *参加ご希望の方は全建女参加申込書の「エキスカーション」欄にコース番号を記入してください。
- *参加費については、コース決定後、振込のご案内をいたします。

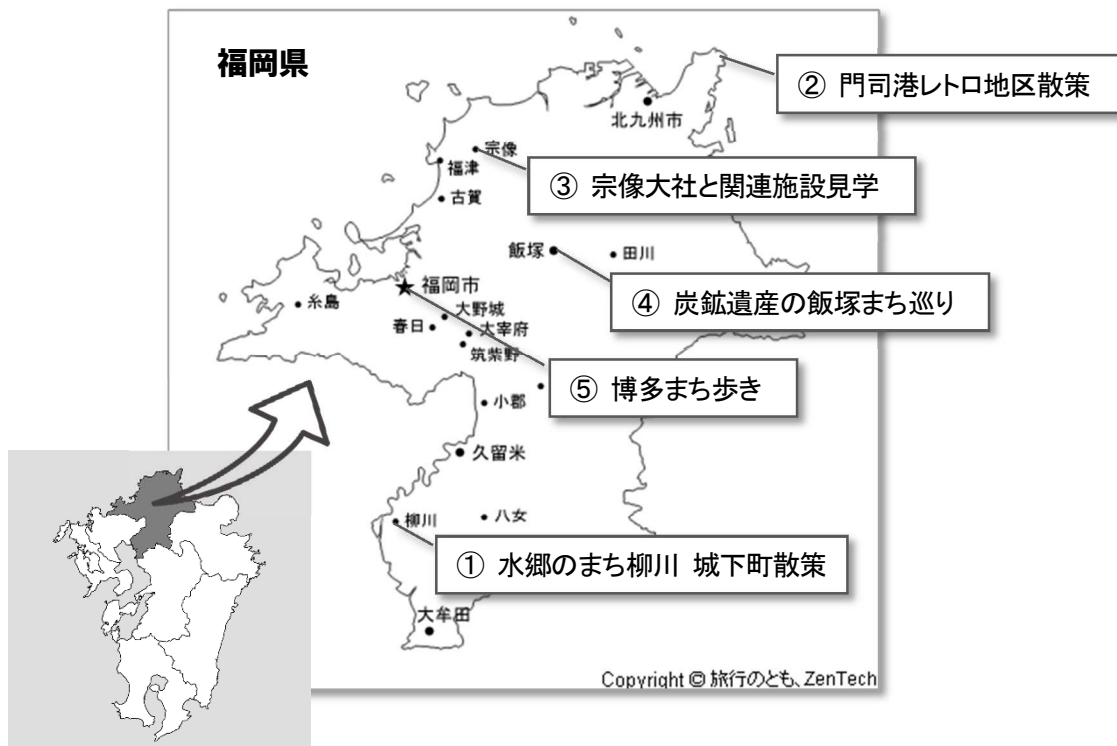
【お申込み時の注意点】

- *参加コースは第3希望まで申し込んでください。
- *参加コースは、2~4頁をご覧の上お選びください。介助が必要な方、幼児同伴の方は、コースによって参加が難しいものがあります。申込書備考欄にご記入の内容によって、後日ご相談させていただく場合があります。
- *希望コースが偏った場合、ご希望に沿うことができない場合もあります。ご了承ください。
- *諸事情によりコース内容が変更になることがあります。ご了承ください。

【参加の際の注意点】

- *それぞれの出発は 九州産業大学1号館 正面玄関 (以下、九産大と表記) からです。
- *全コースで靴を脱いで建物内部の見学を行いますので、靴下を御用意ください。
- *1コース「水郷のまち柳川 城下町散策」では川下りの間は日傘がさせません。帽子をご持参ください。
- *3コース「宗像大社と関連施設見学」は砂利道・階段のあるところが多いので、歩きやすい服装・靴をお願いします。
- *5コース「博多まち歩き」にご参加の方は、必ず歩きやすい服装・靴をお願いします。
- *開催時期は福岡では梅雨明けが予想されます。帽子や冷却グッズなどの十分な熱中症対策をお願いします。
- *①~④コースは道路混雑により帰着地の福岡空港への到着が遅れる場合があります。ご了承ください。なお博多駅からお帰りになる方は、空港から各自で博多駅まで移動をお願いします。
[地下鉄 〆福岡空港⇒博多駅 所要5分:260円]

5つのコース紹介



凡例： → →バス → →タクシー = =徒歩

1 コース	水郷のまち柳川 城下町散策 (柳川市) (昼食 御花 柳川名物うなぎせいろ)
	参加費 8,500円 (昼食・入場料含む) 定員 40名 最小人数 35名
<p>九産大 → → 御花 (旧柳川藩主立花邸・敷地全体が名勝) (昼食・見学) = 川下り (約 20分) = 北原白秋生家 (県史跡)・旧戸島家住宅 (県登録文化財・庭は名勝) = = 柳川堀端散策 = = 駐車場 → → 福岡空港到着 → 18:30 解散</p> <p style="text-align: right;">体力度： </p> <p>※バスでの移動時間が一番長いコースです。 ※川下りの船では日傘がさせませんので、帽子をご持参ください。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>御花 (旧柳川藩主立花邸)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>旧戸島家住宅</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>うなぎせいろ</p> </div> </div>	

担当者オススメ！：旧柳川藩主立花邸が立花氏の子孫によって結婚披露宴会場・レストラン・ホテルとして保存活用されています。名勝の庭を一望する約 100 畳の大広間や鹿鳴館の流れをくむという西洋館は一見の価値があります。また水郷のまち柳川と言われる趣のあるお堀沿いの景観をお楽しみください。

凡例： → 乗 → バス → 乗 → タクシー = 歩 = 徒歩

2 コース	門司港レトロ地区散策（北九州市門司区） （昼食 三井倶楽部 焼きカレーセット）	
参加費 8,000 円（昼食・入場料含む）		定員 40 名 最小人数 25 名
<p>九産大 → 乗 → 旧門司三井倶楽部（昼食） = 歩 = 三宜楼（木造三階建旧料亭） = 歩 = JR 門司港駅（重文：創建当時の状況に復元） → 乗 → 福岡空港着 → 18：30 解散</p> <p style="text-align: right;">体力度：■■■</p> <p>※門司港駅見学後に現地解散ご希望の方は、事前にお申し出ください。解散後に各自で移動をお願いします。なお参加費に変更はありません。（参考：JR 門司港駅より小倉駅まで 普通列車で 13 分）</p>		
 <p style="text-align: center;">門司港駅</p>	 <p style="text-align: center;">三宜楼</p>	 <p style="text-align: center;">焼きカレーセット</p>

担当者オススメ！：三宜楼は昭和6年に建てられた明治創業の料亭でした。大舞台、格天井等が再現された百畳間や、各室の下地窓や欄間の変化に富んだ意匠は一見の価値があります。大正時代の姿に蘇った門司港駅も必見です。お食事は旧三井倶楽部でいただく門司港名物焼きカレーを準備しており、門司港レトロ地区を楽しんでいただけるコースです。

3 コース	宗像大社と関連施設見学（宗像市・福津市） （昼食 潮の里 天ぷら定食）	
参加費 7,500 円（昼食・拝観料含む）		定員 40 名 最小人数 25 名
<p>九産大 → 乗 → 潮の里（昼食） = 歩 = 宗像大社 歩（拝殿、第二宮、第三宮、神宝館） → 乗 → 宮地嶽神社 歩（本殿、奥之宮） → 乗 → 福岡空港着 → 18：00 解散</p> <p style="text-align: right;">体力度：■■■</p>		
 <p style="text-align: center;">宗像大社</p>	 <p style="text-align: center;">宮地嶽神社</p>	 <p style="text-align: center;">天ぷら定食</p>

担当者オススメ！：福岡のパワースポット！世界遺産に登録された宗像大社と、嵐のJALのCMで有名になった光の道がある宮地嶽神社を巡るコースです。宗像大社、神宝館では沖ノ島より出土された8万点に及ぶ国宝をご覧いただけます。宮地嶽神社では光の道の他、3つの日本一（大注連縄、大太鼓、大鈴）も見どころです。お食事は新鮮な海の幸を使った、天ぷらとお造りの定食を準備しています。

凡例： → 乗 → バス → 乗 → タクシー = 歩 = 徒歩

4 コース	炭坑遺産の飯塚まち巡り（飯塚市） (昼食 嘉穂劇場棧敷 特製幕ノ内弁当)	
参加費 7,500 円 (昼食・入場料含む)	定員 40 名 最小人数 25 名	
<p>九産大 → 乗 → ボタ山・石炭巻上機台座(市指定有形文化財、車窓) → 乗 → 嘉穂劇場 (近代化産業遺産、国登録有形文化財、昼食) → 乗 → 駐車場 = 歩 = 旧伊藤伝右衛門邸 (建物：市登録有形文化財、庭園：国の名勝指定) = 歩 = 駐車場 → 乗 → 千鳥屋本家 → 乗 → 福岡空港着 17:40 解散</p> <p style="text-align: right;">体力度：👉</p>		
		

担当者オススメ！：NHK 朝ドラ「花子とアン」の舞台となった旧伊藤伝右衛門邸。炭鉱王伊藤伝右衛門が妻白蓮のために贅を尽くして増築した繊細で優美な室礼の部屋など、見応えがあります。名勝に指定されている庭園も見どころ！炭坑ゆかりのスポットを巡ります。

5 コース	博多まち歩き（タクシー&徒歩にて）（福岡市博多区・中央区） (昼食 博多水炊きうぐいす 水炊き膳)	
参加費 6,000 円 (昼食・入場料含む)	定員 20 名 最小人数 10 名	
<p>九産大 → 乗 タクシー利用 → 博多水炊きうぐいす (昼食) = 歩 = 博多町家ふるさと館 = 歩 = 櫛田神社 = 歩 = 冷泉荘 = 歩 = 川端通商店街 = 歩 = 旧福岡県公会堂貴賓館 (重文) = 歩 = アクロス福岡 = 歩 = 地下鉄天神駅着 16:45 解散 (博多駅 17:00 解散)</p> <p style="text-align: right;">体力度：👉👉👉</p>		
<p>※徒歩による移動距離が一番長いコース（約 2.0 キロ）です。</p> <p>※荷物は事前にホテルか駅ロッカーにお預けください。</p> <p>※アクロス福岡（中央区天神 1）より……JR 博多駅 16:45 まで 地下鉄利用で約 10 分 福岡空港 17:40 まで 地下鉄利用で約 15 分</p>		
		

担当者オススメ！：「山笠のあるけん博多たい！！（博多弁訳：山笠があるからこそ、博多です）」

1241 年に疫病が流行った際に聖一国師(臨済宗の僧)が疫病退散を祈願したのが始まりとされる「博多祇園山笠(ユネスコ無形文化遺産)」。福岡市中心地はその昔、山笠のエリアを中心とする「商人町・博多」と、那珂川を挟んで「武家町・福岡」のエリアに分かれていました。このコースでは、博多エリア～福岡エリアを歩き、昔から現代へのまちの移ろいをご紹介します。

「みんな、きんしゃい！（博多弁訳：皆さん、来て下さい）」